

教師ノート

日付	2014年 3月 9日
単元	ルカの福音書
テーマ	あわれみ
タイトル	良きサマリヤ人
テキスト	ルカ10:25-37
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) ルカ10:27
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	幼1題3課1 、 小下1題1課4 、 小上2題1課4 、 中1題4課12
□導入	人々はよくイエス様に質問をしました。ある時、こんな質問をしました。「イエス様、いちばん大切な教えは何でしょうか。」イエス様はその人に「聖書には何と書いてありますか」とおっしゃいました。するとその人は答えました。『あなたの隣人を自分を愛するように愛しなさい』と書いてあります。」イエス様は、「そのとおりです。だからあなたもそのようにしなさい。」とおっしゃいました。しかしその人は続けて質問しました。『自分を愛するように隣人を愛する』とはどういう意味ですか」と聞きました。そこでイエス様は、その人の質問に答えるために、あるたとえ話をお話しになりました。
□ポイント1 ある旅人が強盗に襲われて半殺しにされました(30節)	あるユダヤ人の旅人が、エルサレムからエリコという町に向かって旅をしていました。エルサレムからエリコまで約30キロメートル、標高差1000メートル以上ある険しい道のりでした。この道は危険なことで知られていました。 しばらく歩いていると、突然、「おい！金を出せ」と強盗が飛び出してきたのです。旅人はどんなに驚いたでしょう。慌てて逃げようとしたのですが、強盗たちに囲まれてしまいました。強盗たちは、あっという間に旅人の持っているものを全部取り上げ、洋服まではぎ取って、ボコボコに殴りつけ逃げていきました。旅人はその場に倒れて、もう起き上がることもできませんでした。
□ポイント2 祭司とレビ人は旅人を見ても助けませんでした(31-32節)	しばらくすると、そこを一人の祭司が通りかかりました。祭司は、神殿で神様のために働いている人です。「おや。あそこにだれか倒れているぞ」と気がつきましたが、「あの人は死にかかっている。助けても何もならないだろう」「面倒なことに巻き込まれないようにしましょう」と考え、助けようとしなくて、道の反対側をさっさと行ってしまいました。 次にレビ人がやってきました。レビ人も神様のことをよく知っている人です。倒れている旅人を見つけると、「ああ、強盗にやられたのか。大変だな」と思いましたが、「急かないと私まで強盗に襲われるかも知れない」と考え、声もかけずに道の反対側を通って行ってしまいました。 祭司とレビ人は神様と人々に仕える人たちで、困っていた人がいたら当然助けてあげるだろうと思われる人たちでした。けれども同じユダヤ人が道端に倒れている姿を見ても、なんと反対側を彼らは通り過ぎて行ったのでした。祭司もレビ人もこの可愛そうな旅人を助けませんでした。

□ポイント3 サマリヤ人は旅人を見てあわれに思い助けました(33-35節)

しばらくすると、ロバに乗って三人目の人がやって来ました。その人はサマリヤ人でした。

その人は道ばたに倒れている人を見つけると、「あっ、大変だ。人が倒れている!」と駆け寄って行きました。そしてその人に「大丈夫ですか。しっかりしてください。」と声をかけました。よく見てあることに気づきました。この人はユダヤ人だったのです。当時ユダヤ人とサマリヤ人は敵対関係にありました。ユダヤ人は、サマリヤ人をとても嫌っていました。もちろん、サマリヤ人もそのようなユダヤ人を深く憎んでいました。しかしこのサマリヤ人は、そんなことを気にしませんでした。目の前にいる傷だらけで倒れている人を、かわいそうに思ったので助けることにしたのです。

まずこの旅人の傷にぶどう酒をかけて消毒しました。そしてオリーブ油を塗って傷の手当をし、包帯をしました。それから自分のロバにその人を乗せて、近くの宿屋に連れて行きその人を看病しました。そして「心配しなくてもいいですよ。すぐ良くなるから」と親切なやさしい言葉をかけてあげました。

朝になると、サマリヤ人は宿屋の主人の所に行き行って言いました。「あのユダヤ人は、今朝はとても良いようです。けれどもまだ弱っています。もうしばらくの間ゆっくり休んで、食べ物も十分食べなければなりません」。そしてサマリヤ人は宿屋の主人にお金を渡して、「私はもう行かなければなりません。この人の面倒を見てあげてください。もっとお金がかかったら、帰りに私が払います」と言ってお願いしました。

結論 あなたも同じようにしなさい

それからイエス様は、さっき質問した人に言われました。「さあこの三人のうち、どの人が旅人の隣人になったと思いますか。」その人は「その旅人を親切に助けてあげた人です」と答えました。

イエス様は「あなたも行って同じようにしなさい」。「困っている人を助けてあげなさい。そしてよい隣人になりなさい」と言われました。

適用

1. みなさんは、だれかに親切にされたことがありますか？親切にされたとき、どう思いましたか？本当にうれしいですね。ですから私たちも、困っている人に気づいたら、自分から助けてあげられるようになりたいですね。
2. イエス様は「隣人を愛しない」と言われました。自分にとって好きな人だけではなく、嫌いな人もみんな隣人であり、すすんで愛するようにイエス様は教えられたのです。みなさんはどうでしょうか？私たちに出来ますか。自分の思いで、そして力で頑張ってみても出来ない時があるのが私たちではないでしょうか。どうしたら「隣人を愛する」ことができるのでしょうか。まず、隣人を愛せないような罪人の私のために、イエス様が私の隣人となり、私の罪の身代わりとなって十字架にかかって下さったことを信じましょう。そして信じた人に、イエス様が愛する力を下さるので、祈り求めていきましょう。